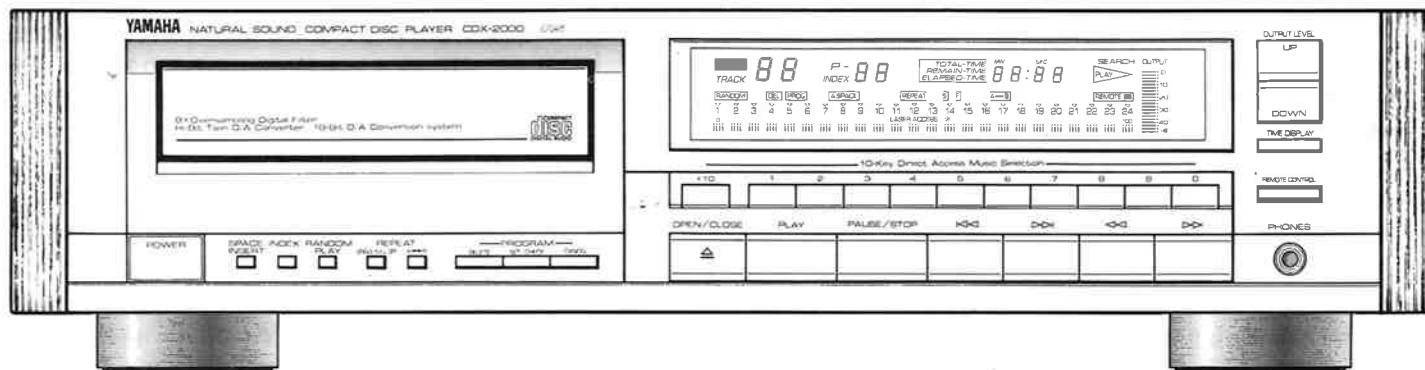


CDX-2000 RS

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤーCDX-2000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-2000の優れた性能を十分に発揮させるとともに、末長くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに保管して下さい。

特長

本機はCD（コンパクトディスク）の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるようヤマハ最新のハイビットデジタル技術を結集して開発されたCDプレーヤーです。周波数特性 2Hz~20,000Hz±0.3dB、ダイナミックレンジ100dB以上、高調波歪率 0.002%以下(1kHz)、SN比118dB以上という電気特性と、ワウフラッターは測定限界以下という機械的特性に裏付けされた精緻な音質を実現しました。

●Hi-Bitデジタル技術が息づく回路設計

8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター、Hi-BitツインD/Aコンバーターシステムなど、ヤマハ最新の高精度デジタル演算システム：Hi-Bit DIGITALの回路設計が随所に息づく本機は、デジタルステージでの原音の追及を新次元へと高めました。

●CDのクオリティを徹底追求したコンストラクション

デジタル部とアナログ部それぞれに独立給電する2トランス電源方式、加えてデジタル部とアナログ部の独立基板構成は、CDのクオリティを損なうことなく再生します。

●デジタルインターフェース時代に対応の出力系統

本機はダイレクト、フィルターの2系統のアナログ出力端子に加え、コアキシャル、オプチカルの2系統のデジタル出力端子を装備、本格的なデジタルインターフェース時代に対応しています。

●演奏状態を常に確認できるFLディスプレイ

8桁のディスプレイが演奏中の曲番、プログラム曲番、演奏経過時間、演奏残り時間などをデジタル表示。また、プログラム演奏、リピート演奏、インデックス演奏などの各演奏モードもインジケーターが表示しますので、演奏状態を常に確認することができます。さらに、演奏状況が一目でわかるミュージックカレンダー、レーザーピックアップのアクセス状況を表示するレーザーアクセスインジケーターも装備しました。

●リスニングルームで威力を発揮するリモコンユニットを標準装備

付属のリモコンユニットをご使用になれば、リスニングポジションを離れることなく基本操作のほとんどが行えます。さらに通常のディスクに収録されている曲数をカバーするダイレクトキーを使ったスピーディな選曲が行えます。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
ご使用の前に	3
リモコンユニットについてのご注意	4
コンパクトディスクの取り扱い	5
接続のしかた	6
各部の名称とはたらき	7
基本的な演奏	11
選曲のしかた	14
プログラム演奏	16
インデックス演奏	20
リピート演奏	21
ランダム演奏	22
スペースインサートについて	23
タイマー演奏	23
故障かなと思ったら	24
参考仕様	25
ヤマハホットラインサービスネットワーク	26

豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度30℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)は、さけてください。



結露現象について

本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に霧が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！



不安定な場所をさけて！



国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

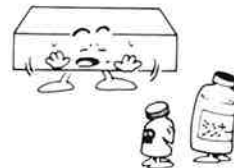


雷が近づいたら

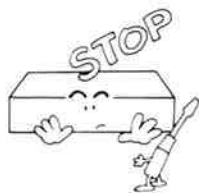


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

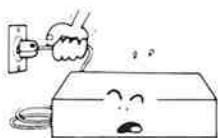
薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

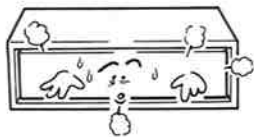
こわれた？



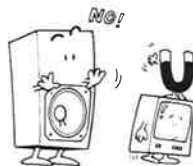
24ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

セットの放熱を妨げない

放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には設置しないでください。



磁気・テレビはさけて！



これは電子機械工業会「音のエチケット」
モーションのシンボルマークです

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

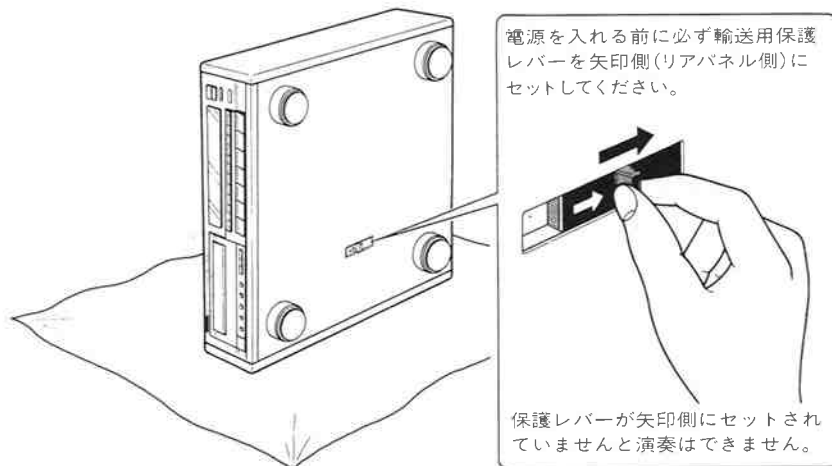
ご使用前に

■輸送用保護レバーについて

本機は輸送時の振動から、内部の精密なレーザーピックアップ部を守るための輸送用保護レバーを本体底面に装備しています。

本機を設置する前には必ず、下図に従ってレバーを演奏用にセットしてください。

- ①パネルに傷などをつけないように、柔らかい布などを敷きます。
 - ②左側面を下にして本体を立てます。このときフロントパネルやリアパネル面を立てないでください。
 - ③レバーを矢印方向に動かします。
 - ④静かに本体を元に戻します。
- レバーをセットする際は本体に衝撃を与えないように注意してください。
 - 本機を移動する際は、ディスクを取り出し必ずレバーを矢印と反対方向に動かし、ピックアップ部を固定してください。



■本機の設置場所について

本機を設置する際は、振動のない水平な場所をお選びください。

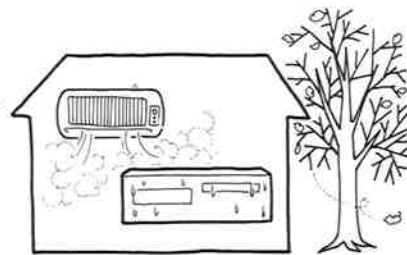
また本機を発熱をとまなうアンプなどの上に設置したり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので、必ず通気性の良い場所に設置してください。

■結露現象について

冬期などに本機を他所から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。

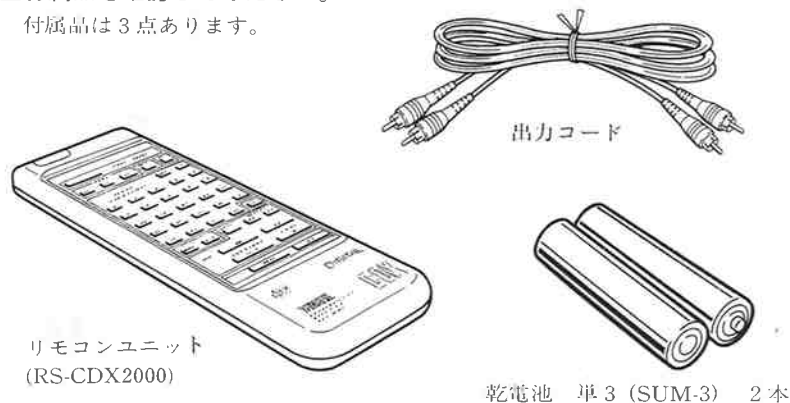
露がついたままでは、信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1～2時間そのままに放置し本機を室温に保ち、露が消えてから操作をしてください。

結露と同じ症状は、夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。



■付属品を確認してください。

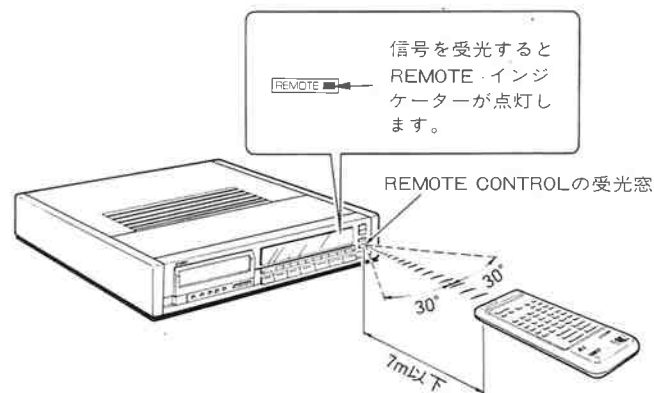
付属品は3点あります。



リモコンユニットについてのご注意

付属のリモコンユニットRS-CDX2000をご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

なお、信号は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光窓との角度にご注意ください。



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くだいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。電池がまったく消耗すると、ボタンを押してもREMOTEインジケータがつかなくなります。

●電池の交換は

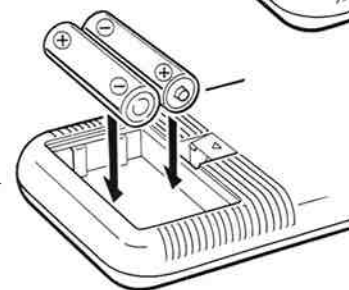
①ふたをはずす。



③電池をセットしたらカチッと音がするまでしめる。



②SUM-3(単3)型
乾電池2個を
⊕⊖を正しく入
れてください。



- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてしないでください。万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

コンパクトディスクの取り扱い

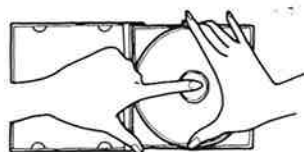
本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

ケースからの取り出し方

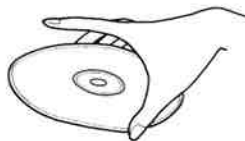
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。

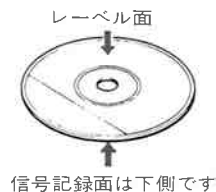


3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)



●市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



取り扱いの注意

●信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音にはまったく影響ありません。



●レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



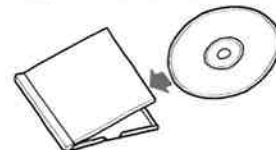
●曲げたりしないでください。



●表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



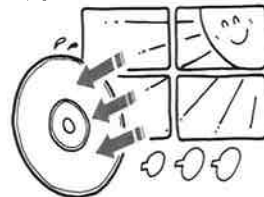
●演奏を終ったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



●レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。



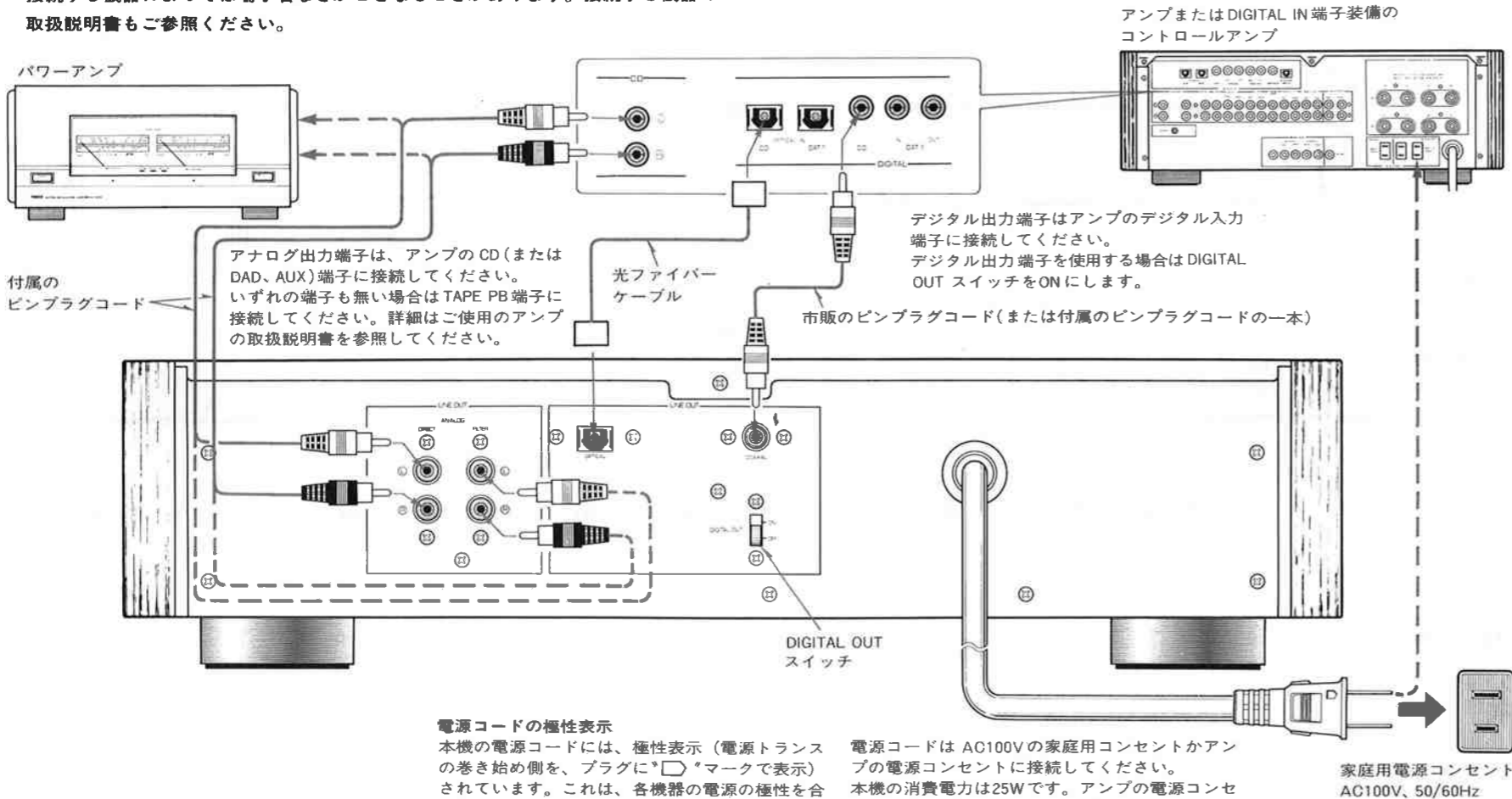
●直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



接続のしかた

- 接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル (R)、左チャンネル (L) を確認して、正しく接続してください。
- 接続する機器によっては端子名などがことなることがあります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

- 本機がチューナーなど、他の機器に妨害を与える (ノイズを発生する) ようなときは、それらの機器と本機の距離を少し離してください。



■LINE OUT 端子について

●ANALOG

本機のアナログ出力は、^{ダイレクト}DIRECT 端子と^{フィルター}FILTER 端子の 2 系統を装備しています。DIRECT 端子には、8 倍オーバーサンプリングデジタルフィルター、Hi-Bit D/A コンバーターシステムを経由したアナログ信号がダイレクトに出力されます。一方 FILTER 端子には、Hi-Bit D/A コンバーターシステムを経由したアナログ信号が、さらに LPF (ローパスフィルター) を通して出力されます。試
アナログ出力を接続する際は、~~接続~~ 視聴の上、お使いになる端子をお決めください。本端子の出力レベルはフロントパネルおよびリモコンユニットの OUTPUT LEVEL コントロールにより調整が可能です。他のプログラムソースと音量レベルが合うように調整しておきますと、アンプのボリュームを操作することなく、いずれのプログラムソースも同レベルの音量で再生することができます。またレベル可変ですので、パワーアンプにダイレクトに接続することもできます。

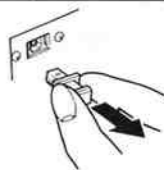
●DIGITAL

DIGITAL OUT スイッチを ON にしますと、デジタル信号が出力されます。本機はデジタル出力は^{コアキシャル}COAXIAL 端子と^{オプティカル}OPTICAL 端子の 2 系統を装備しています。DIGITAL 入力端子を装備したアンプや D/A コンバーターとデジタル接続をすることができます。COAXIAL 端子を接続する際は市販のピンプラグコードまたは付属のピンプラグコードの一本を、OPTICAL 端子を接続する際は、市販の光ファイバケーブルをご使用ください。

- デジタル出力端子を使用する場合は、DIGITAL OUT スイッチを ON にしてください。またデジタル出力端子をご使用にならない場合は、必ず DIGITAL OUT スイッチを OFF にしてください。
- OPTICAL 端子をご使用になるときは、端子カバーを手前に引き、外してから接続してください。

オプティカル端子のカバーの外しかた

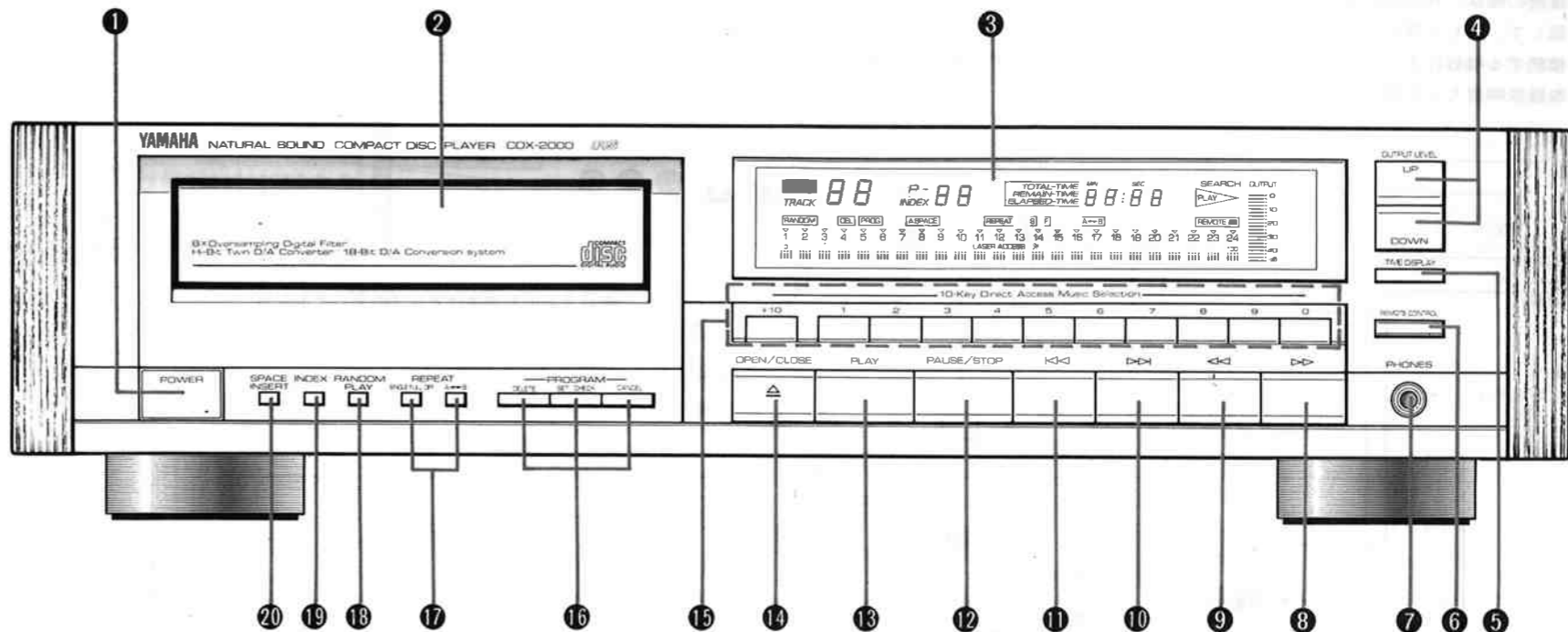
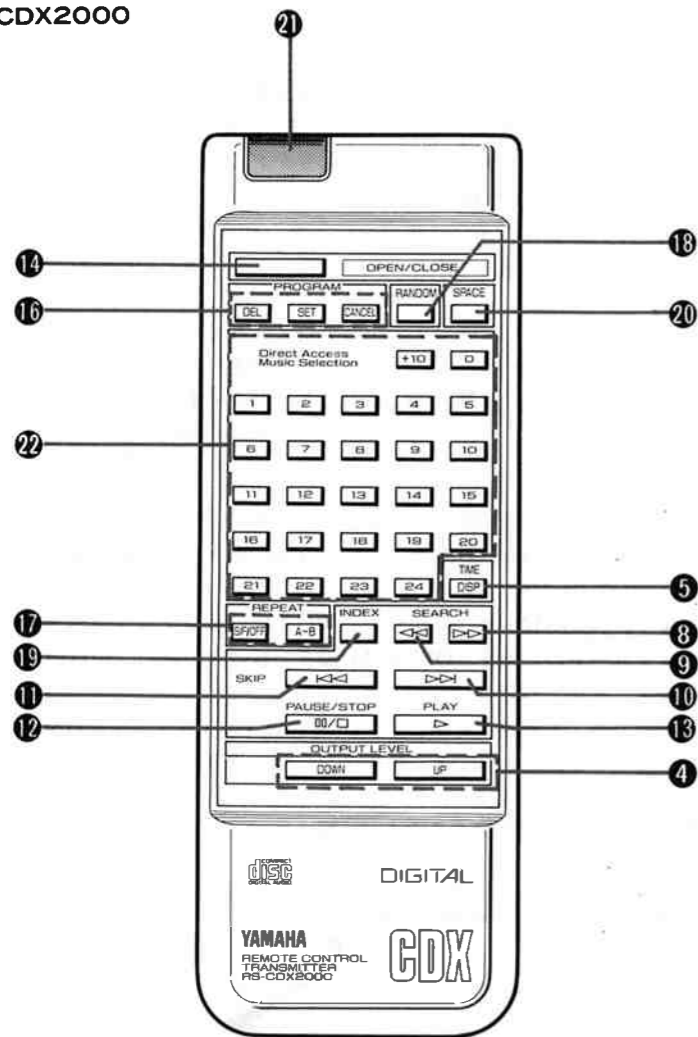
カバーを指でつまんで手前に引き抜きます。



*本端子をご使用にならない場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐため必ず端子カバーをしておいてください。

各部の名称とはたらき

リモコンユニット
RS-CDX2000



① POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。

② ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。

ディスクトレイは手で軽く押ししても、あるいはPLAYキーを押しても閉じることができます。

■電源がONの状態であれば、ディスクトレイの開閉はできません。

③ ディスプレイ

DISCインジケータ

ディスクトレイ内のディスクの有無を表示します。ディスクトレイにディスクが正しくセットされているときは、このインジケータが点灯します。

P-/INDEXインジケータ

プログラム曲番やインデックス番号を表示します。
(プログラムセット中は「P-」、インデックスサーチ中は「INDEX」がそれぞれ点滅します。)

曲番 (TRACK) インジケータ

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。ディスクをセットしてディスクトレイを閉じると、約3秒間、そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

TOTAL/REMAIN/ELAPSED TIMEインジケータ

TIME DISPLAYスイッチを押すごとに、時間表示がELAPSED TIME(演奏経過時間)、REMAIN TIME(演奏残り時間)、TOTAL TIME(総演奏時間)に変わり、各々の時間を分(MIN)秒(SEC)単位で表示します。

PLAYインジケータ

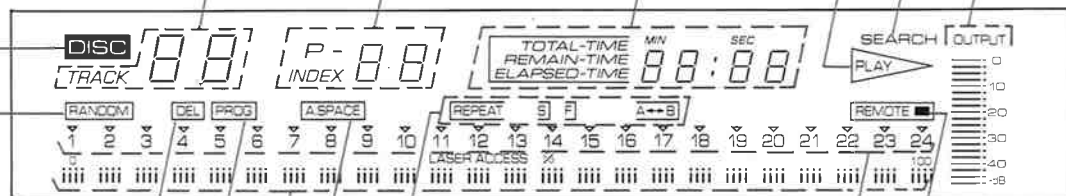
演奏中は点灯し、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

SEARCHインジケータ

レーザーピックアップが曲をサーチ(検索)しているときに点灯します。

OUTPUT LEVELインジケータ

リアパネルのOUTPUT端子およびヘッドホン端子の出力レベルを表示します。



PROGRAMインジケータ

プログラムがセットされているときに点灯します。

REPEAT S、F、A<->Bインジケータ

リピート演奏の種類がS(一曲)、F(全曲)またはA<->Bリピートかを表示します。

REMOTEインジケータ (REMOTE)

付属のリモコンユニットからの信号を受光すると点灯します。

DELインジケータ

デリートプログラムモードのときに点灯表示します。

A. SPACEインジケータ

スペースインサート時に点灯します。

RANDOMインジケータ

ランダム演奏モードのときに点灯します。

LASER ACCESSインジケータ

セットされたディスクに対するレーザーピックアップの位置をパーセンテージで表示します。

ミュージックカレンダー

- 1~24 (トラックナンバー)
ディスクに収録されている総曲数を点灯表示します。
- ミュージックトライアングル (▽)
演奏待ちおよび演奏中の曲は▽が点灯し、演奏が終了した曲の▽は消灯します。

④ ^{アウトプット} ^{レベル} ^{アップ} ^{ダウン} OUTPUT LEVELコントロール (UP/DOWN)

リアパネルのOUTPUT端子およびヘッドホン端子の出力レベルを調整します。UPキーを押しますと音量は大きくなり、DOWNキーを押しますと小さくなります。
* 設定された出力レベルは、電源がOFFになってもメモリーされています。

⑤ ^{タイム} ^{ディスプレイ} TIME DISPLAYキー

時間表示のモードを切り替えるキーです。
ELAPSED TIME (演奏経過時間) 表示中に一度キーを押すと、表示はREMAIN TIME (演奏残り時間) に変わり、もう一度押すとTOTAL TIME (総演奏時間) 表示に変わります。さらに押しますと演奏経過時間表示に戻ります。

⑥ ^{リモート} ^{コントロール} REMOTE CONTROL受光窓

リモコンユニットからの信号 (赤外線) を受光する窓です。正しく受光しますと
③ ディスプレイのREMOTE CONTROLインジケーターが点灯します。

⑦ ^{ホーンズ} PHONESジャック

ヘッドホンをこのジャックに接続しますと、接続したアンプの操作をせずに演奏をモニターすることができます。夜間やお一人でCD演奏を楽しむときなどに活用ください。

⑧ >> キー

演奏を早送りさせるキーです。
演奏時 : 音出し早送り
ポーズ時 : 音無し早送り
ストップ時: 変化しません。
■ 5秒以上押し続けると、高速で早送りします。

⑨ << キー

演奏を早戻しさせるキーです。
演奏時 : 音出し早戻し
ポーズ時 : 音無し早戻し
ストップ時: 変化しません。
■ 5秒以上押し続けると、高速で早戻しします。

⑩ >>> キー

一曲ずつ次の曲の頭に進めるキーです。
演奏時 : 次の曲の頭から演奏
ポーズ時 : 次の曲の頭でポーズ
ストップ時: 曲番が増えます
■押し続けると連続的に曲番が増えます。

⑪ <<< キー

演奏またはポーズしている曲の頭に戻すキーです。
2度以上押すと、さらに前の曲の頭に戻ります。
演奏時 : その曲の頭から演奏
ポーズ時 : その曲の頭でポーズ
ストップ時: 曲番に戻ります
■押し続けると連続的に前の曲番に戻ります。

⑫ ^{ポーズ} ^{ストップ} PAUSE/STOPキー

演奏中にこのキーを押しますと、その箇所ではポーズ (一時停止) し、もう一度押しますとストップします。

⑬ ^{プレイ} PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。

⑭ ^{オープン} ^{クローズ} OPEN/CLOSEキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。一度押すと開き、もう一度押すと閉じます。

⑮ ^{ダイレクト} (10) キー (1~0、+10)

選曲やプログラム演奏曲、インデックス番号を指定するキーです。

⑯ ^{プログラム} PROGRAMキー

聴きたい曲をお好みの順番で演奏する (プログラム演奏→P16) とときや、聴きたくない曲を飛ばして演奏する (デリートプログラム演奏→P19) 場合に使います。

- DELETE** ^{デリート} : デリートプログラムをセットするキーです。
- SET/CHECK** ^{セット}/^{チェック} : プログラム演奏をするとき、そのセッティングやチェックをするキーです。
- CANCEL** ^{キャンセル} : プログラムを一曲ずつ、あるいはそのすべてを削除するキーです。

⑩ REPEATキー

- リピート (繰り返し) 演奏をするときに押します。(リピート演奏→P21)
- SINGLE/FULL/OFF** ^{シングル}/^{フル}/^{オフ} : 一曲リピート、全曲リピート、プログラムリピートのセットと解除およびA↔Bリピートを解除するときに使います。
- A↔B** : A↔Bリピート (任意の2点間のリピート) 演奏をセットするときに使います。

⑪ RANDOM PLAYキー

ディスクに収録されている曲を、本機にまかせてランダム (順不同) に演奏させるキーです。

⑫ INDEXキー

インデックス演奏をするときに使うキーです。(インデックス演奏→P20)

⑬ SPACE INSERTキー

このキーを押しますと、演奏される曲と曲との間が約3秒間に自動的に設定されます。

リモコンユニット RS-CDX2000

⑭ 送信窓

リモコン信号を送信する窓です。(リモコンユニットについてのご注意→P4)

⑮ ダイレクトキー (0~24、+10)

0から24まで、そして+10の数字キーです。曲番、インデックス番号などをダイレクトに指定することができます。

- リモコンユニットのその他のキーの機能は本体のキーと同様です。

■ ミュージックカレンダー、レーザーアクセスについて

本機は演奏状況やプログラムのセット状況を一目で把握することができる、便利なミュージックカレンダー、そしてレーザーピックアップのアクセス状況を表示するLASER ACCESSを装備しています。

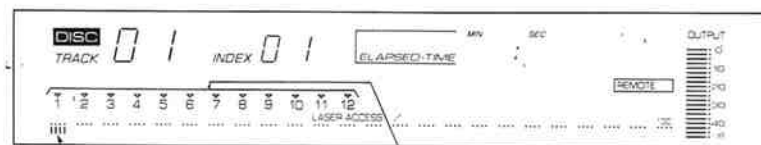
● ミュージックカレンダー

ディスクをセットしますと、ディスクに収録されている曲数に対応した番号とミュージックトライアングル (▽) が点灯します。演奏を終えた曲の▽が順次消灯します。またプログラムの選曲時は、プログラムされた曲の▽が点灯しますので、セットミスを事前に防ぐことができます。

● レーザーアクセス

演奏中、レーザーピックアップのディスクの位置を、ディスクの総演奏時間に対するパーセンテージで表示します。

▶ 例 12曲収録のディスクをセットした場合



点灯します

演奏後は消灯します

※本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。

基本的な演奏

◆リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

◆電源を入れる前に、必ず輸送用保護レバーが演奏側(リアパネル側)にセットされているかどうか確認してください。

- コンパクトディスクは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置および本機の出カレベルにご注意ください。

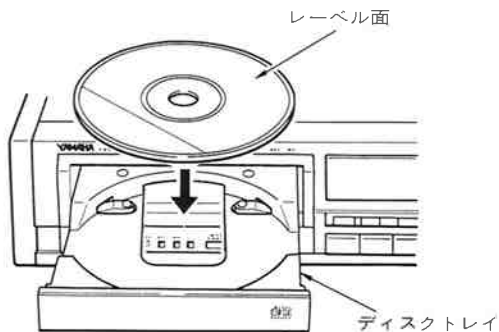
- 1** POWERスイッチを押し、電源を入れます。



- 2** OPEN/CLOSEキーを押し、ディスクトレイを開けます。

- 3** ディスクをケースから取り出し、レーベル面を上にしてディスクトレイに入れます。

- レーベル面の反対側が音の記録面です。
(記録面は片面だけです)



- 4** OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが閉まり、DISCインジケーターが点滅、その後点灯に変わります。

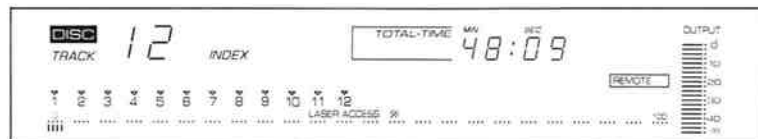
ディスプレイは、そのディスクに収められている総曲数と総演奏時間を約3秒間表示した後、ストップ状態になります。同時にミュージックカレンダーがディスクに収録されている曲を番号と▽の点灯で示します。

また、LASER ACCESSはレーザーピックアップがディスクの1曲目にあることを示す0の位置が点灯します。

- ディスクをセットしてもDISCインジケーターが点滅後消灯するときは、ディスクが裏返しになっていないか確認してください。

ディスクトレイはPLAYキーを押しても、ディスクトレイを手で軽く押しても閉じることができます。

- ▶例 総曲数12曲、総演奏時間48分9秒



約3秒後

ストップ状態



ご注意

- ディスクトレイに不要物などを入れますと故障などの原因となります。
- ディスクトレイが動作している間は、手で無理に開閉しないでください。

5

PLAYキーを押します。

PLAYインジケータが点灯し、1曲目からディスクの最後の曲まで演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示します。また演奏が終了した曲番のミュージックトライアングル(▽)は消灯し、最終曲まで演奏しますと自動的ストップ状態(1曲目の頭に戻る)になります。

▶ 例 2曲目の演奏開始後58秒経過



- 本機の出レベルはOUTPUT LEVELコントロールで調整します。
- ディスクにキズなどがありますと、演奏開始時間が遅れたり、途中から演奏することがあります。
- 偏芯したディスクは演奏中に異音を発することがありますので、ご使用にならないでください。
- 演奏中は本機を動かさないでください。演奏中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたり、衝撃を与えたりしますと、ディスクに傷を付けたりする恐れがあります。本機を動かす場合には、演奏を中止し、ディスクを必ず取り出してください。

ディスクがディスクトレイにセットされていたときは、電源を入れますと、総曲数、総演奏時間を表示せずにただちに演奏が始まります。ディスクトレイをPLAYキーを押したり、ディスクトレイを手で押して閉じた場合にも、総曲数、総演奏時間を表示せずに、ただちに演奏が始まります。

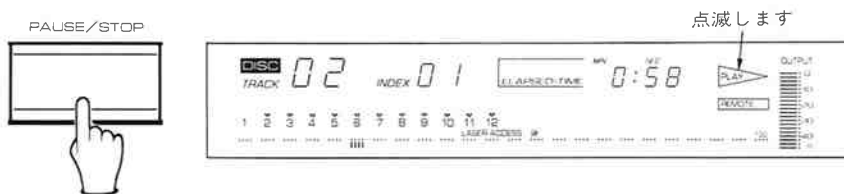
演奏を一時停止させるときは

PAUSE/STOPキーを1回押します。

キーを押したところで一時停止(ポーズ)し、PLAYインジケータが点滅します。再び演奏を始めるときには、PLAYキーを押してください。

- ポーズ中にもう一度PAUSE/STOPキーを押しますとストップ状態になります。

▶ 例 2曲目を演奏中、演奏開始58秒でポーズ



演奏をストップさせるときは

PAUSE/STOPキーを2回押します。

PLAYインジケータが消え、演奏がストップします。ピックアップは1曲目の頭に戻ります。

ディスクをとりだすには

OPEN/CLOSEキーを押します。

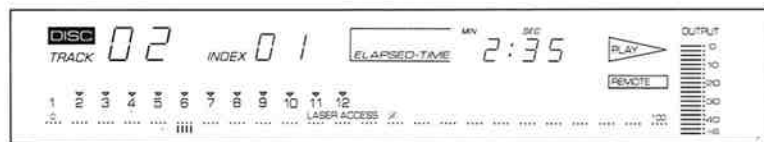
ディスクトレイが出てきます。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

- OPEN/CLOSEキーはPOWERスイッチ以外のすべてのキー機能に優先します。例えば演奏中でもこのキーを押せば、演奏がストップし、ディスクを取り出すことができます。このような場合にも、本体、ディスクに対して何らの支障はありません。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐため、必ずディスクトレイは閉めておいてください。

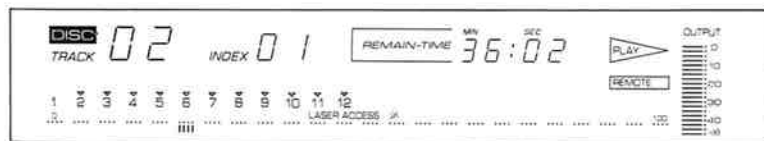
ディスプレイについて

TIME DISPLAYキーを押すごとに、表示内容が切り変わります。

ELAPSED TIME ▶ 例 2曲目を演奏中、2分35秒経過



REMAIN TIME ▶ 例 2曲目を演奏中、演奏終了まで、あと36分2秒



TOTAL TIME ▶ 例 2曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏時間は48分58秒



- REMAIN TIMEおよびTOTAL TIMEが99分59秒を超えた場合は、100分代を省いて表示されます。
- ストップ状態時はELAPSED TIMEおよびREMAIN TIMEは表示されません。
- ランダム演奏中のELAPSED TIMEおよびREMAIN TIME表示は“--:--”となります。

Playing Variation プレイングバリエーション

■ 本機はいろいろな演奏をお楽しみいただけます。下記のリストを参考にしてください。

- ▶ ディスクの始めから終わりまで通して聴きたい → 基本的な演奏 P 11
- ▶ ディスクの途中の曲から聴きたい → 選曲のしかた P 14
- ▶ ディスクの中の何曲かだけを聴きたい → プログラム演奏 P 16
- ▶ ディスクの中のある曲を飛ばして聴きたい → デリートプログラム演奏 P 19
- ▶ 曲の途中のある楽章(INDEX)から聴きたい → インデックス演奏 P 20
- ▶ ディスクの始めから終わりまで通して
繰り返して聴きたい → リピート演奏 全曲リピート P 21
- ▶ ディスクの中のある一曲を
繰り返して聴きたい → リピート演奏 一曲リピート P 21
- ▶ ディスクのある部分を
繰り返して聴きたい → リピート演奏 A ↔ B リピート P 21
- ▶ プログラムした曲を繰り返し聴きたい → リピート演奏 P 21
- ▶ 気分を変えて、たまには演奏順を本機にまかせたい → ランダム演奏 P 22
- ▶ ディスクをカセットテープに録音したい → スペースインサートについて P 23
- ▶ CD演奏を目覚ましにしたい → タイマー演奏 P 23

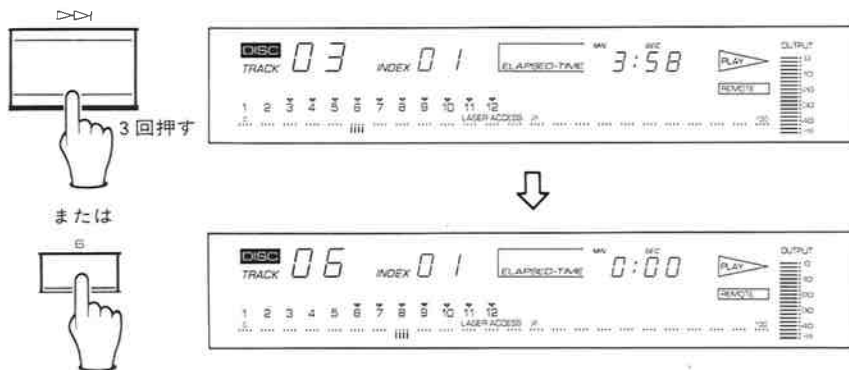
選曲のしかた

- “+” “-” キーやダイレクトキー（10キー）を使って、簡単にディスクの中の聞きたい曲を選曲することができます。

演奏を開始する前、および演奏中の選曲

- ▶▶ キー ……キーを押すごとに次の曲に移ります。押し続けると連続的に変化し、最終曲で止まります。
- ◀◀ キー ……キーを押すごとに前の曲の頭に戻ります（演奏中のときは、まずその曲の頭に戻ります）。押し続けると曲番1まで連続的に変化します。
- ダイレクトキー（10キー） ……ダイレクトに選曲することができます。演奏したい曲の番号を押します。
 - ディスクに収録されている曲数より大きな番号を指定した場合は、自動的に最終曲番がディスプレイに表示されます。
 - 選曲操作はディスクトレイが開いた状態でも行えます。
 - ダイレクトキーで選曲した場合には、ただちに演奏が開始されます。

▶例 曲番3を演奏中に、曲番6を演奏するとき



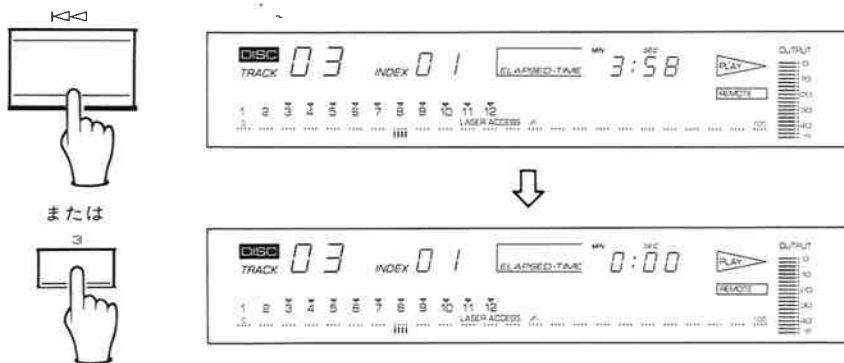
- 演奏中に選曲した場合は、選曲後にその曲を自動的に演奏します。
- ポーズ中に選曲した場合は、選曲された曲の頭でポーズ状態になります。

◆リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

演奏中の曲の頭からもう一度聴くとき

- ◀◀ キー ……“-”キーを一回押します。
- ダイレクトキー（10キー） ……演奏している曲の番号を押します。

▶例 曲番3を演奏中に、曲番3を再度演奏しなおすとき



早送りと早戻し

■演奏中またはポーズ中に“▶▶” “◀◀” キーを使って、早送り・早戻しをすることができます。

■演奏中（音出しサーチ）

“▶▶” または “◀◀” キーを押し続けると、始めの約5秒間は低速で、その後は高速で早送り・早戻しすることができます。キーを押している間は、再生音を小さな音（約1/4）で聞くことができます。指を離れたところから演奏が再開します。

- “▶▶” キーを押し続けて、最終曲の終わりまでサーチしますと、ストップ状態になります。

■ポーズ中（音無しサーチ）

“▶▶” または “◀◀” キーを押しますと早送り・早戻しができますが、ポーズ中は再生音は出ません。

■ストップ状態

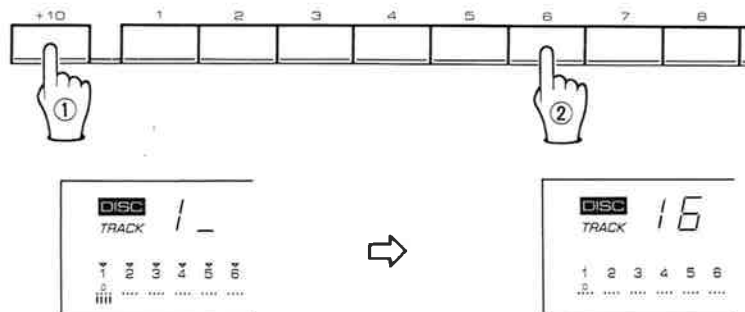
“▶▶” あるいは “◀◀” キーを押しても、変化しません。

ダイレクトキー(10キー)の操作について

曲番10以上の曲を選曲する場合には、+10キーを押しますと、1_と表示がでます。その後に1の位の番号を押します。

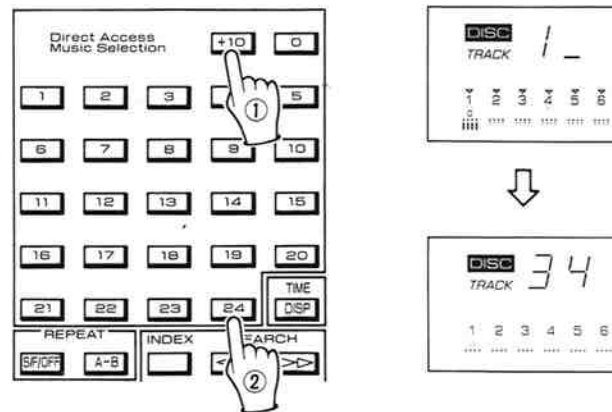
例 本体の10キーで16曲目を選曲する場合

- ① +10キーを押します。
- ② 6キーを押します。



例 リモコンユニットのダイレクトキーで34曲目を選曲する場合

- ① +10キーを押します。
- ② 24キーを押します。



■+10キーについて

- 曲番のセット時は“+10”キーを押すごとに“1_”“2_”と変わりますが、セットされたディスクにない2桁は表示せず、“0_”に戻ります。
- インデックスのセット時は、“+10”キーを押すごとに“1_”“2_”“3_”と変わり、“9_”の次に押しますと“0_”となります。
- +10キーを押したあとに1の位を入力しませんでした、約10秒後に入力は解除されます。

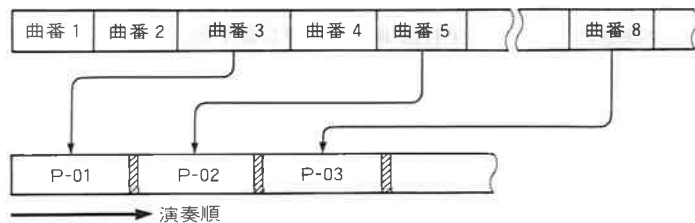
- ストップ状態や、ディスクトレイが開いた状態で+10キーを押し、1の位を入力しないままPLAYキーを押しますと、一曲目から演奏します。
- 演奏中に+10キーを押し、1の位を入力しないままに“>>”“<<”キーを操作しますと、“>>”“<<”キーによって指定された曲が演奏されます。

プログラム演奏

- ディスクに収録されている曲の中から、任意の曲数を選んで、順番を並べ変えて演奏することができます。
- 最大24曲までプログラムすることができます。

プログラムのセットのしかた

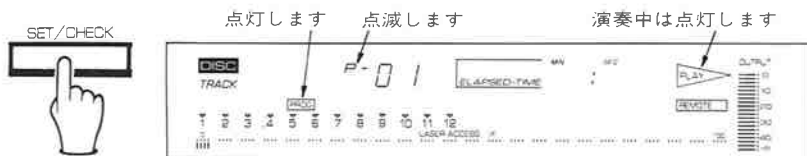
例 次のようなプログラムは



1 PROGRAMのSET/CHECKキーを押します。

ディスプレイにP-01の表示が出て、プログラム1にプログラムが可能であることを示します。また“P-”インジケータが点滅します。

- “P-”の点滅を約10秒間放置しますと、プログラムセット状態は解除されます。



- 演奏中にもプログラムのセットをすることができます。
- プログラム演奏をただちに始めたい場合はストップ状態でプログラムのセットをしてください。

リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

2 希望の曲番をダイレクトキーで選択します。 この場合は3です。

- 選曲された曲のミュージックカレンダーの▽を残して、他の曲の▽が消灯します。



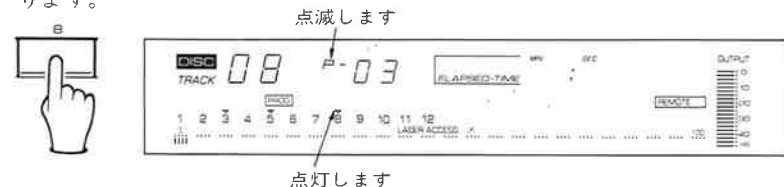
3 再び希望の曲番を選択します。 この場合は5です。

- 選曲された曲のミュージックカレンダーの▽が点灯します。



4 再び希望の曲を選択します。 この場合は8です。

- 選曲された曲のミュージックカレンダーの▽が点灯します。
- 合計24曲までセットしますと、自動的にP-01に戻り演奏スタンバイ状態になります。



5

プログラムを演奏します。

PLAYキーを押しますと、プログラムのセットが完了し、ディスプレイの“P-”の点滅が、点灯に変わり演奏が開始されます。

- 演奏中にプログラムをセットした場合には、PLAYキーを押しますと、現在演奏中の曲番と“P- 0 0”の表示が出ます。その曲が演奏を終えますと、プログラム演奏が開始されます。



- 希望の曲がすべてセットできたかどうか、ミュージックカレンダーで確認してください。
- プログラムの演奏が終了しますと、自動的にP-01に戻り、演奏スタンバイ状態になります。

TIME DISPLAYキーを押してTOTAL TIME表示にしますとプログラムの総演奏時間が表示されますので、カセットテープなどに録音するときなどに活用してください。

プログラム演奏中の選曲操作

プログラム演奏中に“▷◁”、“◀▶”キーを押しますと、プログラムされている順番で前後の頭出しをすることができます。またダイレクトキーを使いますと、プログラムされていない曲の頭出しをすることができます。この場合は、その曲の演奏終了後にもとのプログラムに戻ります。

プログラムのチェック

ストップ状態にしてSET/CHECKキーを押しますと、押すごとに、P-01から順にプログラム曲番が表示されます。

プログラム演奏中の早送り、早戻し

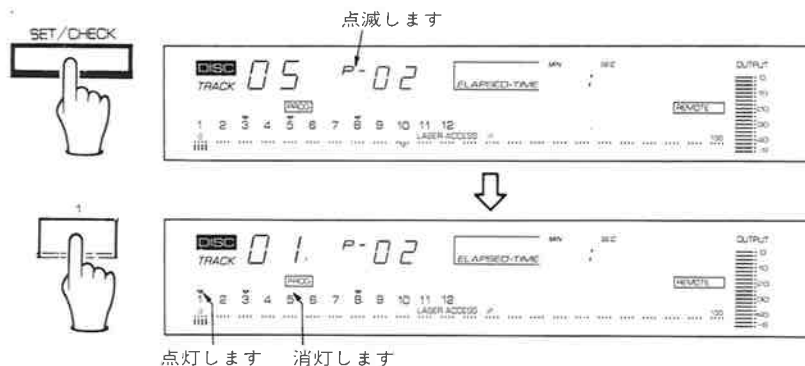
“▷▷”または“◀◀”キーを使いますと、プログラムに関係なく早送り、早戻しをすることができます。

プログラムの変更のしかた

1 SET/CHECK キーを押し、変更したいプログラム番号をディスプレイに表示させます。

2 "P-" インジケータが点滅していることを確認し、ダイレクトキーで新しい曲番を選びセットし直します。
前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。

▶例 P-02曲番5を曲番1に変更するには



- インデックスのプログラム演奏はできません。
- プログラムの総演奏時間が99分59秒を越えた場合のTOTAL TIMEとREMAIN TIMEは100分台の数字を除いた表示をします。
- プログラム演奏で曲番が24以上の曲をプログラムしたときは、REMAIN TIME、TOTAL TIMEは表示されません。

プログラムの部分削除のしかた

1 SET/CHECK キーを押し、削除したいプログラム番号をディスプレイに表示させます。

2 "P-" インジケータが点滅していることを確認し、CANCELキーを押します。
その曲はキャンセルされ、次の曲がそのプログラムに繰り上がって入ります。

▶例 P-02、曲番5をキャンセルすると

	P-01	P-02	P-03
キャンセル前の曲番	3	5	8
キャンセル後の曲番	3	8	←

プログラムの解除のしかた

すべてのプログラムを解除するには

・演奏中

PAUSE/STOPキーを2回押しストップ状態にし、CANCELキーを押す。

・ディスクトレイを開ける。

などの方法があります。また一度電源がOFFになりますと、すべてのプログラムが解除されます。

■ デリートプログラム演奏

- ディスクに収録されている任意の曲を飛ばして演奏することができます。

▶ 例 ディスクの2曲目と6曲目を飛ばして演奏するには



- 1 PROGRAMのDELETEキーを押し、次にSET/CHECKキーを押します。
“P-”インジケータが点滅、P-01にデリートプログラムがセットできることを示します。



- 2 演奏しない曲番を指定します。

この場合は2です。

P-01に曲番2がセットされ、曲番2のミュージックカレンダーの▽が消灯します。



- 3 再び演奏しない曲番をセットします。

この場合は6です。

P-02に曲番6がセットされ、曲番6のミュージックカレンダーの▽が消灯します。



- 4 デリートプログラムの演奏

PLAYキーを押しますと、デリートプログラムのセットが完了、“P-”インジケータが点滅からINDEX点灯に変わり、演奏が開始されます。

- この場合は、ディスクの一曲目から演奏が始まり、2曲目と6曲目を飛ばして順次演奏します。
- デリートプログラムの変更と解除のしかたは、プログラムの変更と解除の方法と同様です。
- デリートプログラムは再度DELETEキーを押しても解除することができます。

インデックス演奏

長時間の演奏が収録されているディスク、例えばクラシック曲のディスクには、楽章ごとにインデックス番号が設定されているものがあります。そのようなディスクは、インデックス番号を指定することにより、曲の途中から演奏を開始することができます。

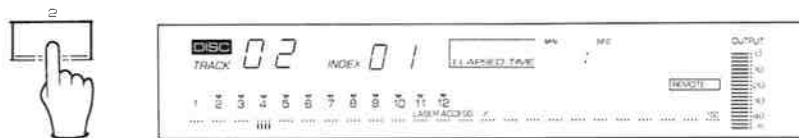
- インデックス番号が記録されているディスクには「IN:DEX」マークがディスクの解説書に記載されています。ディスクの解説書をお確かめください。
- インデックス番号が記録されているディスクを演奏中は、ディスプレイにインデックス番号が自動的に表示されます。
- インデックス演奏は、まず曲番を指定した後にインデックスキーを押し、インデックスインジケータが点滅していることを確認してからインデックス番号を指定してください。

▶例 2曲目のインデックス3から演奏を始めるときには

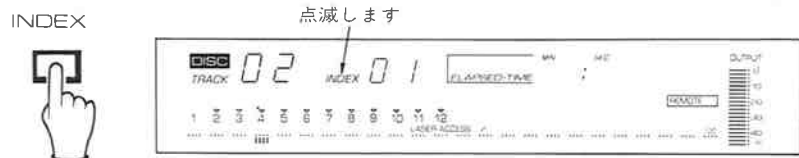
1曲目			2曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス3	インデックス1	インデックス2	インデックス3

-----> 从这里开始演奏

- 1** ダイレクト選曲キーを押し、曲番を指定します。
この場合は2です。



- 2** INDEXキーを押します。
ディスプレイのINDEXが点滅し、インデックス指定モードになります。



▶リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- 3** ダイレクト選曲キーで、演奏を始めたいインデックス番号を指定します。
この場合は3です。
インデックスのサーチが完了しますとINDEXインジケータが点滅から点灯に変わり、演奏が開始されます。



インデックスの解除

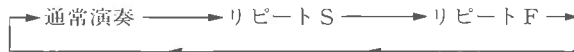
- ストップ状態のときに、インデックス指定モードのまま (INDEXインジケータ点滅中)、PLAYキーを押して演奏をスタートさせた場合は、曲番1の演奏が開始されますと、自動的にインジケータは点灯に変わりインデックス指定モードは解除されます。
- インデックス演奏は、指定した箇所少し前から演奏することがあります。
- 演奏が開始されると、自動的にインデックスの指定モードは解除されます。
- ランダム演奏中は、インデックス演奏できません。
- プログラムがセットされているときは、インデックス演奏はできません。

- ディスクに記録されているインデックス番号より大きな数を指定した場合は、最終インデックス番号から演奏を始めます。
- インデックス番号の記録されていないディスクの場合は、インデックス番号01を表示し、指定された曲の頭から演奏されます。
- インデックス演奏は、開始されるまでに多少時間がかかることがあります。

リピート演奏

◆システムに付属のリモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- ディスクの全曲、一曲あるいは聞きたい部分だけをリピート（繰り返して）演奏することができます。
- REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーは、押すごとにS(シングル：一曲)、F(フル：全曲)、通常演奏(リピート解除)に変わります。

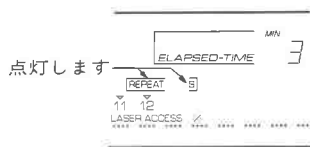


- 一曲リピート：指定した一曲をリピート演奏します。
- 全曲リピート：ディスクの全曲をリピート演奏します。
- A↔Bリピート：指定した任意の2点間をリピートします。

一曲リピート

指定した一曲をリピート演奏します。

- 1 REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押す、ディスプレイにREPEAT Sを点灯させてください。



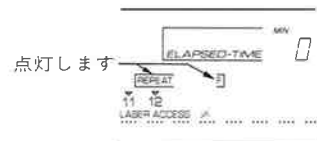
- 2 ダイレクトキーでリピートさせたい曲を選びます。

- ストップ状態から▶◀、◀◀キーで選曲した場合はPLAYキーを押します。
- 演奏中にREPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押す、ディスプレイにREPEAT Sを点灯させますと、その曲が一曲リピートします。

全曲リピート

ディスクに収録されている全曲をリピート演奏します。

- 1 REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押す、ディスプレイにREPEAT Fを点灯させます。



- 2 PLAYキーを押します。

- 演奏中にもREPEAT Fを点灯させますと、全曲リピートになります。
- プログラム演奏、デリートプログラム演奏もリピート演奏することができます。
- ランダム演奏の場合は、一回目のランダム演奏終了後に、新たなランダム演奏を開始します。

一曲、全曲リピートの解除

REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを押す、REPEAT S またはREPEAT F のインジケータを消灯させてください。

- 一度電源がOFFされますとリピート演奏は解除されます。

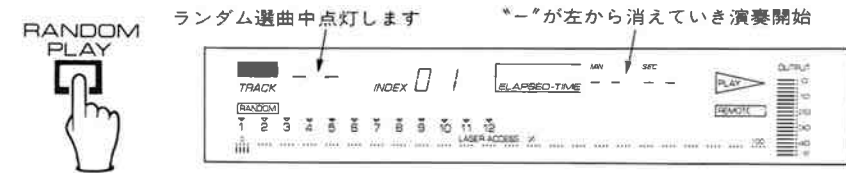
ランダム演奏

▶リモコンユニットで操作するときには、対応するキーをお使いください。

- ディスクに収録されている曲を本機が順不同（ランダム）に演奏順を並べ変えて演奏します。
- ランダム演奏は一度演奏が終了しますと、ストップ状態になります。

ランダム演奏のしかた

ランダム プレイ
演奏中あるいはストップ状態のときにRANDOM PLAYキーを押してください。



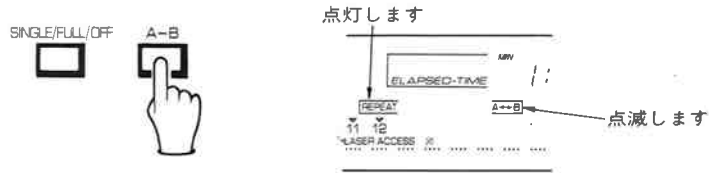
- ランダム演奏は、ランダム演奏中にもう一度RANDOM PLAYキーを押しますと解除されます。またダイレクトキーや「>>」「<<」キーを押しても解除されます。
- プログラムのランダム演奏はできません。
- ランダム演奏中にインデックス演奏はできません。
- ランダム演奏中、TOTAL TIME および REMAIN TIME は「--:--」と表示されます。

A↔Bリピート

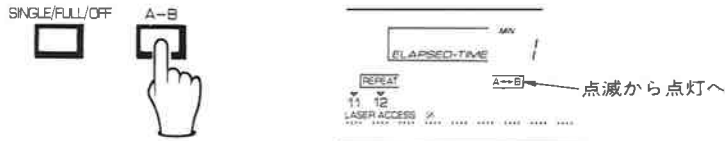
指定した好きな2点間をリピート演奏することができます。



- 1 演奏中に、リピートさせたい箇所になりましたらREPEAT A↔Bキーを一度押します。A点が設定され、REPEAT A↔Bインジケーターが点滅します。



- 2 リピートを終えたい箇所になりましたら、再度REPEAT A↔Bキーを押します。これでB点が設定されました。B点が設定されるとREPEAT A↔Bインジケーターが点灯し、同時にA↔Bリピート演奏がスタートします。

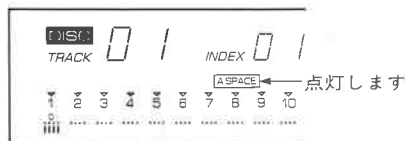


- REPEAT SINGLE/FULL/OFFキーを一回押しますと、A↔Bリピートは解除されます。
- ディスクトレイを開閉しますとリピート演奏は解除されます。

スペースインサートについて

曲間が充分ではないディスクの場合、そのままテープに録音してもテープデッキ側で思い通りに選曲できない場合があります。そのような場合にはSPACE INSERTキーを使って、曲間に適当なスペースを挿入して録音しますとデッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。

- 1** デッキで録音を開始する前に、SPACE INSERT キーを押します。
ディスプレイにA. SPACEインジケーターが点灯します。



- 2** PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し、曲間に約3秒間のスペースを設定した演奏がスタートします。

- 曲間の3秒間はディスプレイに「———」の表示が出て、順次一印が左から消灯して示します。
- ディスクは今までのソースと比較して、圧倒的にダイナミックレンジが異なります。録音の前にレベルチェックをじておくことをお勧めします。

タイマー演奏

別売のオーディオタイマーと組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができ、お好みのディスクで目覚まし再生を行なうことができます。

- ①本機の電源プラグをアンプのリアパネルのコンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの運動コンセントに接続します。
- ③本機の電源スイッチを入れてディスクをセットし、出力レベルを調整します。
- ④アンプの電源スイッチを入れてINPUT SELECTORをCDにし、アンプの音量を調整します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。

(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)

※タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。
以上でタイマーにセットした時刻がくると自動的にディスクの第一曲目から演奏が始まります。

※プログラム演奏、リピート演奏はできません。

メモリーバックアップについて

本機は内蔵のスーパーキャパシタの働きにより、OUTPUT LEVEL コントローラーで設定した出力レベルは、電源OFF時にもメモリーされています。

長時間、本機をご使用にならない場合は、キャパシターが放電しメモリーが消えてしまうことがあります。メモリーが消えますと、出力レベルは自動的に「0」（出力レベル最大）に設定されますので、あらためて調整してください。

※メモリーバックアップの期間（1時間以上電源をONにした場合）は、7日間程度です。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
	保護レバーが矢印側にセットされていない	本体底面の輸送用保護レバーを矢印側(リアパネル側)にセットしてください。
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	インジケーターが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください

参考仕様

■型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	2Hz~20kHz±0.3dB
ディエンファシス偏差	±0.3dB(EIAJ)
高調波歪率+雑音	0.002%以下1kHz(EIAJ)
SN比	118dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	100dB以上(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション	100dB以上 1kHz(EIAJ) 100dB以上20kHz(EIAJ)
出力電圧	2V(EIAJ)
出カインピーダンス	47Ω
ヘッドホン出力電圧(150Ω負荷)	3V

■方式

光ピックアップ	3ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換	18ビットフローティング(L,Rツイン)
フィルター	デジタルフィルター+ 3次ニューアクティブフィルター
ディスプレイ	蛍光表示管

■機能

頭出し	◀◀◀・▶▶▶キーによる順次頭出し ダイレクトキーによる頭出し
インデックスサーチ	ダイレクトキーによる指定
音出しサーチ(演奏時)	◀◀◀・▶▶▶キーによるサーチ 2段階スピード自動切換
ポーズ	ポーズ/ストップキーを1回押す
ストップ	ポーズ/ストップキーを2回押す
総演奏時間表示	TIME DISPLAYキーにて
演奏残り時間表示	//
プログラム機能	24曲ランダム 合計時間表示機能
オートスペース機能	演奏時、曲間3秒以上のスペース
リピート	1曲、全曲またはプログラム全部のリピート A↔Bリピート、ランダムプレイリピート
タイマープレイ	ディスク装着時パワーONで演奏開始

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	25W
外形寸法(W×H×D)	473.5×121×417.5(mm)
重量	15.7kg
付属品	出力コード リモコンユニット(RS-CDX2000) 乾電池 単3(SUM-3)×2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

(昭和62年8月1日 現在)

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3
TEL(011)781-3621

仙台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

東京 〒211 川崎市中原区木月1184
TEL(044)434-3100

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
TEL(025)243-4321

浜松 〒435 浜松市上西町911番地 日本楽器宮竹工場内
TEL(0534)65-6711

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内
TEL(06)877-5262

四国 〒760 高松市丸龜町8-7 日本楽器高松店内
TEL(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39
TEL(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道 〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内
北海道営業所 TEL(011)512-6115

仙台 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F
東北営業所 TEL(022)223-3101

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
首都圏営業所 TEL(03)255-5691
神田営業所 TEL(03)255-6767
北関東営業所 TEL(03)255-1825
東京営業所 TEL(03)255-2302

千葉 〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F
千葉営業所 TEL(0472)47-6622

神奈川 〒211 川崎市中原区木月1184
神奈川営業所 TEL(044)434-4871

浜松 〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内
浜松営業所 TEL(0534)71-1207

名古屋 〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内
中部営業所 TEL(052)782-7551
名古屋営業所 TEL(052)782-7551

大阪 〒556 大阪市浪速区数津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内
関西営業所 TEL(06)647-6411
日本橋営業所 TEL(06)647-6411
大阪営業所 TEL(06)647-6411

広島 〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内
中四国営業所 TEL(082)244-3745

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
九州営業所 TEL(092)472-2131

本社 〒430 浜松市中沢町10-1
ホームエレクトロニクス事業本部
お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

定休日 日・月・祭日

営業時間 午前9時～午後5時30分

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内営業部 TEL.(0534)60-3421
管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA